

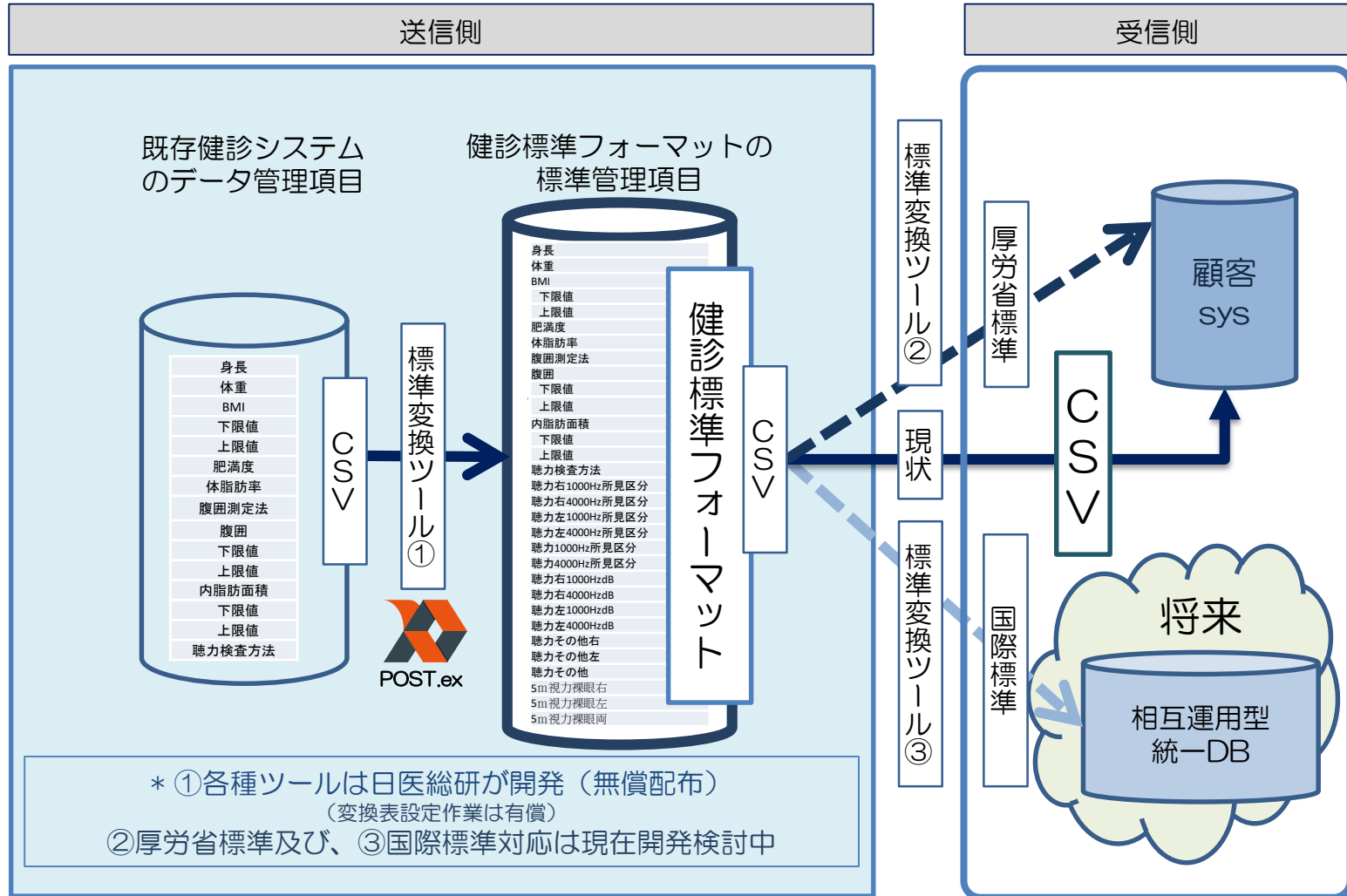
# 健診標準フォーマット 変換ツール(POST.ex)導入に際し

健診標準フォーマット管理事務局

日医総研 窪寺

# 「健診標準フォーマット」運用の概要図

健診標準フォーマットは健診機関がバラバラに管理する健診データを標準化し、日本医学健康管理評価協議会が推奨する電子的標準仕様で流通させることを目的に開発されました。健診標準フォーマットへの変換は専用の変換ツールを利用します。



# 健診データの健診標準フォーマットへの変換手順の概要

平成29年12月に健診関係10団体で構成する日本医学健康管理評価協議会は健診機関が扱う健診結果データの電子的様式を「健診標準フォーマット」に統一しました。すべての健診機関では個別形式の変換元CSVファイルを日医総研が配布する「変換ツール」を利用して「健診標準フォーマット」に変換することが可能になっています。（平成30年9月配布開始）

健診機関および健診実施者の両者にとって、健診結果データの電子的標準仕様を「健診標準フォーマット」に統一することで特定健診項目に限らず全検査項目を効率的かつ正確に授受することができます。

健診機関が「健診標準フォーマット変換ツール」を入手するための手順を以下に示します。

- 1) 作業開始時に健診機関は調査票など5種類の資料を揃えて事務局に送付します。
  - ①利用機関登録票、②由来情報調査票、③変換元CSVファイル、④健診結果個人報告書、⑤所見コード表



- 2) 事務局では健診機関別に変換元CSVファイルと由来情報を元に健診結果データの変換対応表を作成し、変換が正しく行われる変換ツールを設定します。両者で変換結果を確認できた変換ツールを健診機関に配布します。その後必要なファイルの更新を継続的に行います。

# 健診データの健診標準フォーマットへの作業詳細

健診データの健診標準フォーマットへの変換表設定作業は健診機関所属のシステム担当者と日医総研（健診標準フォーマット管理事務局）が共同で作業を行います。（ファイルの送受信などは日医総研の専用サーバーを利用します）

【健診機関側】以下の①利用機関登録票、②由来情報調査票、③CSVファイル、④健診結果個人報告書、⑤所見コード表を揃えて事務局にお送りいただけるようお願いいたします。

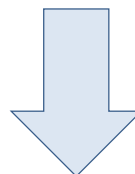
- 1) **調査①（利用機関登録票）**の記入をお願いします。  
変換ツールを利用している健診機関を登録管理にするために必要となります。
- 2) **調査②（由来情報調査票1、2、3）**の記入をお願いします。  
健診を実施する際の測定方法等詳細な健診運用情報を調査します。変換表を作成する際に利用します。  
年1回の更新処理を行います。
- 3) 健診システムに登録されている**健診結果データを抽出するプログラムを特定してください。**  
データ抽出プログラムは新たに作成しなくてもシステムベンダーは保守のために必ず所有しています。余力があれば健診標準フォーマットのレコード仕様の順番にそろえていただければ助かります。また、大手代行機関の出力CSVファイルがあればそれで結構です。システムベンダーによる抽出アプリ開発費用が高額になる場合は、現在使用している抽出ツールで、一番多く項目を抽出できるツールを利用してください。（新たな投資は最小限にしてください）
- 4) 上記プログラムにより、ヘッダー付きの**③変換元CSVファイル**を作成してください。（サンプル数は300～1000件）  
**各項目の結果値がコード値である場合にはコードの名称に置き換えてください。**  
結果項目の出力順番（ヘッダーの並び）は貴施設の個別順で構いませんが、次ページの項目個人属性項目はヘッダーに組み込んでください（赤字項目も含む）。
- 5) また、変換ツール作成時の効率化のために、ドックなどの項目の多い種別の**④健診結果個人報告書**の雛形をお送りいただければ問い合わせなどを減らせます。加えて、画像所見名称についても現在標準化作業を継続しておりますので、**⑤画像所見コード一覧**をお送りいただくと変換時にエラー件数が少なくなります。できれば画像所見関係項目以外のコード表もお送りください。

## 【日医総研・健診標準フォーマット管理事務局】

- 1) 健診機関から提出された資料を基に変換表を作成し、変換ツールを作成します。変換表を作成する際に由来情報調査票や健診結果報告書などを参照します。不明な点は担当者に問い合わせします。
- 2) 変換ツールによる変換結果を健診機関側と相互に確認を行ったのち、日医総研より正式な変換ツールを提供します。
- 3) 健診機関のシステムの更改や検査方法の変更などが行われたら、変換ツールの更新を行います。

## 前頁4)の補足

③「変換元CSVファイル」には以下の個人属性必須項目をヘッダーに含めて下さい。  
また、結果項目には、最低限**必ず契約健保健診の全受診項目（人間ドック+オプション項目）**を含めて作成して下さい。



以下の項目で、赤字項目は必須項目です

1	健診実施年月日
2	健診実施機関番号
3	健診実施機関名称
4	健診管理用受診者ID1
5	健診管理用受診者ID2
6	健診分類
7	特定健診・特殊健診の同時実施
8	健診コース名称
9	カナ氏名
10	漢字氏名
11	英字氏名
12	生年月日
13	受診時年齢
14	性別
15	居住地郵便番号
16	住所
17	保険者番号
18	被保険者証等記号
19	被保険者証等番号

以下は結果項目の中の必須項目です。

既往歴区分、既往歴病名、  
自覚症状区分、自覚症状  
他覚症状区分、他覚症状  
生活習慣問診、  
総合判定、  
判定医師名      などが最低項目となります

## ◆ 所見標準分類名について

### • 画像所見標準名称の作成・編集にあたって

各健診機関が使用している画像所見名称が標準化されていないため、画像所見標準名称を作成し、類義語を標準名称にまとめました。

1. 初期の所見名は全衛連加盟86施設から収集した名称（8万例）を元に検討しました。
2. 登録件数の多い所見名を中心に整理し、学会ガイドラインも参照いたしました。
3. ワーキンググループの協力を得て、第1案を作成しました。  
（WG委員：沢委員、武藤委員、煎本委員、高木委員）
4. 今後はデータ収集を行いながら所見名の集計を継続して行い、WGで適宜追加更新していきます。

### • 画像所見標準名称の活用について

画像所見標準名称への変換はPOSTexの中で自動的に行います。

1. 所見標準分類名は各健診機関に対し強制力を持ちません。
2. 所見名が施設の外部に出る時には変換表を利用して画像所見標準名称に自動変換されます。変換表にない新所見は「\*その他（新所見）」と変換されます。
3. 所見項目は「部位」と「所見」で構成します。「部位」には「臓器名」「位置」などを包含します。なお、「大きさ」「個数」などは所見に含めるなど検討します。
4. 当分の間、健診機関で登録した画像所見名称も同時に出力することとしています。
5. 変換表は基本的にWGの同意を得た上で、変換ツールを利用する健診機関に日本医学健康管理評価協議会のホームページを介して周知していきます。

# 変換ツールの費用負担について

## ・変換ツールに組み込む変換表設定作業費用

変換ツール（以下、POST.ex）は日医総研が開発しています。日本医学健康管理評価協議会を構成する団体への加盟の有無によらず、健診機関には無償で提供いたします。ただし、健診機関のシステムが標準化されていないため、個別の設定テーブル設定作業が必要となります。その設定内容を標準化するために日医総研の指定業者が設定作業を行います。そのための初期設定費が必要となります。

なお、POST.exでは健診施設の健診システムによる出力形式がCSVファイルであることを前提としており、現在、特殊健診は対象外です。また、XML形式等の出力形式に対応する変換ツールは、別途検討中です。

→ 変換ツールは無償で提供します。ただし、変換表を作成確認する初期設定費用が必要です。

また、POST.exでは画像所見等の標準化を行っております。標準名称などが更新されるたびに「変換表」の更新を無償で行います。関係者には個別に連絡するとともに、ホームページ等で共有を図ります。

→ 「変換表」や「標準用語」等は日本医学健康管理評価協議会において検討、更新します。

## ・初期設定費用の支払い方法

支払いの時期： 変換ツール納品後、翌月末支払い  
支払い方法： 変換ツール納品時に指定いたします  
金額： 1施設 50,000円（税別）

# ☆ 調査票 ①利用機関登録票

## 調査票の利用目的

- ・ 健診標準フォーマット対応健診機関をホームページで紹介していきます。
- ・ ツール作成時に連絡を取り合う担当者を明確にします。

I 施設情報

貴施設名称

医療機関コード   
※半角英数10桁を入力して下さい

住所①（都道府県）

住所②

※以下は健診データ変換についてご担当される部署についてご記入下さい

担当部署名称

担当部署責任者（役職）

担当部署責任者（氏名）

担当者（役職）

担当者（氏名）

連絡先（TEL）

連絡先（e-mail）

II 健診データ管理情報

1. 実施している健診

健診等の名称	健診の実施主体	実施の有無 ※実施している健診に 「○」を付けて下さい	委託元の数 (契約相手先の数) ※概算で結構です	年間実施件数 ※昨年度概算で結構 です
特定健康診査（国保・国保組合）	国保・国保組合			
【市町村衛生部門】の一般健診	市町村			
【市町村】生活保護受給者の一般健診	市町村			
特定健康診査（被用者保険）	被用者保険			
後期高齢者健診	広域連合			
一般定期健康診断	事業者			
特殊健康診断	事業者			
対策型がん検診	市町村自治体			
任意型がん検診	医療保険者・事業者			
人間ドック	医療保険者・事業者			
乳・幼児健診	市町村自治体			
児童生徒健診	学校等			



# ☆ 調査票 ②由来情報シート1 記載例

- 由来情報は毎年1回調査報告します。(由来情報の内容は、今後変更していく予定です)

身体計測	身長計測機器		施設健診で利用されている自動計測機器型番
	体重測定機器		施設健診で利用されている自動計測機器型番
	肥満度計算 計算式	自動計算	計算法(自動計算(成人:計算式、成人外:計算式)、手入力)
	腹囲測定法	特定健診計測法	特定健診計測法
	体脂肪率計測方法		測定法:
	体脂肪率計測機器型番		施設健診で利用されている自動計測機器型番
	内臓脂肪面積計測法		CT、デュアルインピーダンス、
	内臓脂肪面積計測機器型番		施設健診で利用されている自動計測機器型番
尿検査方法	尿糖定性 検査法	試験紙法(目視)	例: 試験紙法(機械読み取り)、試験紙法(目視法)、不明(その他)
	尿蛋白定性 検査法	試験紙法(目視)	
	尿ウロビリノーゲン定性 検査法	試験紙法(目視)	
	尿潜血定性 検査法	試験紙法(目視)	
	尿比重 検査法		
	尿pH 検査法		例: 屈折計法、その他
尿沈渣	測定法	無染目視	
	結果記録方法(JCCLS式等)		
尿検査(定量)	計測機器型番		
血圧	血圧測定法		
	血圧計機器型番		
心電図	心電図診断基準(方法)	専門医の読影	例:フクダ分類、日本光電分類、HP分類、ミネソタ分類、その他
	心電計機器型番		
	心電図負荷試験検査方法		例:マスター2段階負荷試験(所見)、トレッドミル負荷心機能検査(所見)、エルゴメーター負荷心機能検査(所見)
	トレッドミル計測機器型番		
	エルゴメーター計測機器型番		



# 調査票②由来情報シート2

# 記載例

検査項目	検査実施者 種別 1: 自施設 2: 外部委託	検体 分類種別 (尿) 早朝尿、 随時尿 (血液) 血清、血漿、 血球、全血	単位 施設管 理単位	試薬購入 元コード	検査基準に基づく基準範囲 (臨床判断値ではありません)				JLAC10(参考)	検査法 (選択あるいは記載してください)
					基準下限値		基準上限値			
					男性	女性	男性	女性		
AST (GOT)		1血清	IU/l		13	13	33	33	3B035000002327201	UV法 (JSCC準拠)
ALT (GPT)		1血清	IU/l		6	6	30	27	3B045000002327201	UV法 (JSCC準拠)
γ-GT (γ-GTP)		1血清	IU/l		10	10	47	47	3B090000002327101	UV法 (JSCC準拠)
ALP		1血清	IU/l		115	115	359	359	3B070000002327101	UV法 (JSCC準拠)
LD(LDH)		1血清	IU/l		119	119	229	229	3B050000002327201	UV法 (JSCC準拠)
LAP		1血清	IU/l		30	30	70	70	3B135000002327101	L-ロイツン-p-ニトロアザリド基質法
コリンエステラーゼ		1血清	IU/l		214	214	466	466	3B110000002327101	3,4,5-トリメチル-2-ナフトール基質法
CPK		1血清	IU/l		62	45	287	163	3B010000002327201	UV (JSCC準拠)
血清アミラーゼ		1血清	IU/l		37	37	125	125	3B160000002327101	B-65-PNP基質法
膵型アミラーゼ		2血清								
ACP・総酸性フォスファターゼ		2血清								
総蛋白		1血清	g/dl		6.2	6.2	8.2	8.2	3A010000002327101	Biuret法
アルブミン		1血清	g/dl		4	4	5	5	3A015000002327101	可視吸光度法 (BCG法、BCP改良法)
血清・A/G		1血清								
蛋白分画・アルブミン		2血清	%		60.2	60.2	71.4	71.4	3A020000002323251	セルロース・アセテート膜電気泳動法
蛋白分画・α1グロブリン		2血清	%		1.9	1.9	3.3	3.3	3A020000002323252	セルロース・アセテート膜電気泳動法
血清・フェリチン		2血清	ng/ml		50	12	200	500	3A030000002327101	放射線測定法
総ビリルビン		1血清	mg/dl		0.3	0.3	1.2	1.2	3J010000002327101	バナジン酸化法
直接ビリルビン		1血清	mg/dl		0	0	0.2	0.2	3J015000002327101	バナジン酸化法
総コレステロール		1血清	mg/dl		128	128	219	219	3F050000002327101	コレステロールオキシダーゼ・POD法
HDLコレステロール		1血清	mg/dl		40	40	96	96	3F070000002327101	直接法
LDLコレステロール		1血清	mg/dl		70	70	139	139	3F077000002327101	直接法
中性脂肪		1血清	mg/dl		30	30	149	149	3F015000002327101	GPO・HDAOS(グリセリル消去)法
βリポ蛋白		2血清	mg/dl		150	130	600	430	3F130000002329201	比濁法
リパーゼ		1血清	IU/l		7	7	60	60	3B180000002327101	1,2-ジグリセリド基質・TOOS法(比色法)
空腹時血糖		1血清	mg/dl		70	70	109	109	3D010000002227201	HK・G6PDH法orGlu-DH法
随時血糖		1血清	mg/dl						3D010000002227201	HK・G6PDH法orGlu-DH法
HbA1c		1全血	%		4.6	4.6	6.2	6.2	3D045000001920401	HPLC法 (NGSP)
血糖0分		1血漿	mg/dl		70	70	109	109	3D010000002227201	HK・G6PDH法orGlu-DH法
血糖60分		1血漿	mg/dl						3D010000002227201	HK・G6PDH法orGlu-DH法
血糖120分		1血漿	mg/dl						3D010000002227201	HK・G6PDH法orGlu-DH法

運用項目	↓ 回答欄 健診分類別とともに書き込んでください。	
	施設型健診	巡回健診
身長(自動計測計、自己申告・・)	自動計測計	自動計測計
体重の調整方法(平服着衣時マイナス**kg ..)	-1	-1
血圧測定方法	自動計測計	自動計測計
検体検査について		
血糖値(随時、空腹時・・)	空腹	随時
空腹時の考え方(食後時間等・・)	朝食無し	朝食無し
巡回健診の際の検体採取および輸送条件		
尿検査(随時尿、早朝尿・・)	随時尿	随時尿
心電図検査方法	標準12誘導	標準12誘導
上部消化管検査		
バリウム検査について	有り(RF)	検診車
内視鏡検査	無し	無し
下部消化管検査		
内視鏡検査	無し	無し
腹部超音波検査		
部位の範囲	肝胆膵腎脾	肝胆膵腎脾